

ヨコハマの国際事業の  
主な動きをお届けする

# YOKOHAMA INTERNATIONAL DIGEST

平成 30 年 9 月 4 日  
【発行】横浜市国際局政策総務課  
企画担当 045-671-4710  
ki-somu@city.yokohama.jp



【ガルージン駐日ロシア大使と林市長との面会の様子】

## ガルージン駐日ロシア大使が横浜市長と面会しました

7月9日に、ミハイル・ガルージン駐日ロシア大使が来浜され、林市長と面会を行いました。ガルージン大使は、駐日大使館に勤務された経験が長くおありで、今年3月に大使として着任されました。大使の日本初赴任は約30年前。当時は飛行機ではなく船で入国され、そのとき初めて日本の地を踏んだのが横浜港だったそうです。



ガルージン大使と林市長は、文化芸術や女性の活躍など、ロシアと横浜との交流について、幅広く意見交換を行いました。

## 世界都市サミットで横浜市の実績を発表しました

シンガポールにて開催された世界都市サミットに参加するため、荒木田副市長がシンガポールに出張しました。7月8日には世界各国の首長が参加する「市長フォーラム」に市を代表して参加し、7月10日には2つの関連イベントで

本市の取組についてプレゼンテーションしました。



横浜市も加盟するC40（世界大都市機構先導グループ）が主催するイベントでは、横浜市が公民連携で取り組む仮想発電所（バーチャルパワープラント）など、先進技術を活用した気候変動への取組について紹介しました。IFHP（国際住宅・都市計画連合）が主催するイベントでは、高齢化が進む横浜市郊外部の再生・活性化を目指す「持続可能な住宅地推進プロジェクト」の取組を紹介しました。



この他、世界都市サミットの併催イベント「シンガポール国際水週間」で横浜市水道局・環境創造局や市内企業のブース視察を行ったほか、シンガポールの先進的な都市計画について知るため先方政府担当者からのヒアリングや視察を行いました。

## 世界の食料問題を考える中高生のための食料フォーラムが開催されました

7月21日に、10月の「世界食料デー」のプレイベントとして市内中高生が食料問題について考えるフォーラムが開催されました。資源循環局が国連食糧農業機関(FAO)駐日連絡事務所、食に関わるNGO/NPOと共同で実施し、グループディスカッションや講演等を通じて世界の食料問題とその解決へ向けた行動について一人一人が考えました。



## 第7回アフリカ開発会議の開催日程決定

7月27日に、2019年に横浜で開催される第7回アフリカ開発会議の開催日程について、「2019年8月28日から2019年8月30日に決定した」ことが政府から発表されました。

詳細はこちら：（横浜市国際局ホームページ）

<http://www.city.yokohama.lg.jp/kokusai/exchange/ticaddates.pdf>